

令和6年度

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価
報告書

台東区教育委員会

目 次

| | | |
|--------|---------------------------|-----|
| 1 | 目的及び根拠 | 3 |
| 2 | 点検及び評価の対象 | 4 |
| 3 | 点検及び評価の方法 | 5 |
| 4 | 学識経験を有する者の知見の活用 | 6 |
| 5 | 点検及び評価の結果 | 6 |
| | 基本目標毎の総括評価 | 7 |
| | 各事業毎の個別評価 | 1 1 |
| 基本目標 1 | 多様な分野における学びの機会を充実する | 1 1 |
| 1 | 世代に応じた学習機会の充実 | 1 1 |
| | (1)乳幼児の体験機会の充実 | |
| | (2)青少年の学ぶ機会の充実 | |
| | (3)成人の学びの充実 | |
| | (4)高齢者の学習機会の充実 | |
| 2 | 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実 | 1 3 |
| | (1)家庭教育の充実 | |
| | (2)スポーツに親しむ機会の提供 | |
| | (3)芸術・文化・伝統に親しむ機会の提供 | |
| | (4)多様な主体に応じた学習機会の提供 | |
| 基本目標 2 | 学び続けられる環境を充実する | 1 7 |
| 3 | 時代の変化に対応した施設整備 | 1 7 |
| | (1)生涯学習施設の充実 | |
| 4 | 学びを継続できる支援の充実 | 1 9 |
| | (1)情報発信の充実 | |
| | (2)ICTを活用した学びの充実[重点施策] | |
| 基本目標 3 | 学びの成果を活かす取組みを推進する | 2 1 |
| 5 | 学習成果の活用を促進するための支援の充実 | 2 1 |
| | (1)活動に取り組む担い手の育成 | |
| | (2)成果を活用する場の整備・充実 | |
| 6 | 学びの成果を地域活動につなげていくための支援の充実 | 2 2 |
| | (1)学習と活動の循環の促進[重点施策] | |
| | (2)地域と協働した取組みの推進 | |

| | | |
|---|-------------------------|----|
| 6 | 学識経験者による意見 | 24 |
| 7 | 参考資料 | 30 |
| | ・教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧 | |
| | ・台東区教育大綱 | |
| | ・教育目標 | |

1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から全ての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を毎年実施しており、今般令和6年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度より「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進計画」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画のうち、教育委員会以外の事業を除いたすべての施策及び事業について点検及び評価を行い、教育行政の推進を図ってまいりました。

今年度については、「生涯学習推進計画」に掲載されている事業のうち、計画上重点施策と定めた事業及び新規に掲載した事業を対象に点検及び評価を行いました。施策方向については、施策を構成する取組の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った24事業は下記の表のとおりです。

※下記の表は、生涯学習推進計画の施策体系図から対象事業のみを抜粋したものです。なお、「NO.」はそれぞれ、生涯学習推進の基本目標－施策の方向－施策を表す。再掲事業については、事業名に「[再掲事業]」と記載している。

[生涯学習推進計画]

| 通し番号 | NO. (基本目標-施策の方向-施策) ※同施策内の事業については枝番号付与 | 事業名等 | 掲載ページ |
|------|--|--------------------------------|-------|
| 1 | 1-1-1 | 子供の読書活動推進 | 11 |
| 2 | 1-1-2 | ジュニア駅伝大会 | 11 |
| 3 | 1-1-3 | 台東学びの広場 | 12 |
| 4 | 1-1-4 | シニアライフ応援計画 | 12 |
| 5 | 1-2-5 | 家庭教育学級 | 13 |
| 6 | 1-2-6-① | チャレンジスポーツ教室 | 13 |
| 7 | 1-2-6-② | スポーツの祭典 | 14 |
| 8 | 1-2-6-③ | ジュニア駅伝[再掲事業] | 14 |
| 9 | 1-2-7 | 池波正太郎記念文庫管理運営 | 15 |
| 10 | 1-2-8-① | 生涯学習センターの機能強化(誰でも活躍できる学習環境の充実) | 15 |
| 11 | 1-2-8-② | 障スポチャレンジ | 16 |
| 12 | 2-3-9-① | 生涯学習センターの機能強化 | 17 |
| 13 | 2-3-9-② | 誰もが利用しやすい施設の整備 | 17 |
| 14 | 2-3-9-③ | 図書館機能の強化 | 18 |
| 15 | 2-4-10 | 学習情報提供の充実 | 19 |
| 16 | 2-4-11-① | 生涯学習センターの機能強化(ICTを生かした学習環境の充実) | 19 |
| 17 | 2-4-11-② | ICTを活用した生涯学習事業の推進 | 20 |
| 18 | 2-4-11-③ | ICTリテラシー向上支援 | 20 |
| 19 | 3-5-12 | スポーツボランティアの育成 | 21 |
| 20 | 3-5-13 | 生涯学習ボランティア | 21 |
| 21 | 3-6-14-① | 生涯学習センターの機能強化(学習成果の発表の場の充実) | 22 |
| 22 | 3-6-14-② | 台東学びの広場(現代課題講座) | 22 |
| 23 | 3-6-14-③ | 台東区民カレッジ | 23 |
| 24 | 3-6-15 | 台東区文化祭 | 23 |

3 点検及び評価の方法

本報告書では、施策及び取組を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

(1) 教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた基本目標に対する昨年度の取組結果をまとめました。また、各事業ごとの個別評価を一覧としてまとめています。

(2) 教育事業評価シート

教育事業評価シートでは、各事業ごとに事業を所管する課が点検・評価をしています。シートの見方は下記のとおりです。

| | | |
|---------|------------------|---|
| NO. | ① | |
| 取組 | | ② |
| 事業名 | | ③ |
| 取組の概要 | | ④ |
| 5年度事業評価 | 目標 (取組内容) | ⑤ |
| | 事業 (実績、成果、課題) | ⑥ |
| 担当課評価 | ⑦ | ⑧ |

⑨【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①②③…各計画ごとの位置づけ
- ④…各計画に記載されている取組の概要
- ⑤…事業の令和5年度の目標及び取組内容
- ⑥…事業の令和5年度の実績、成果、及び課題
- ⑦…評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑧…⑦のように評価した理由
- ⑨…事業の所管課名

(3) 教育事業評価シートの評価基準について

教育事業評価シートについては、次の基準で3段階に分けて評価しました。ただし、今回対象としている「台東区生涯学習推進計画」については、計画目標が計画最終年度である令和9年度末時点で設定しているため、点検対象とする事業実施年度(令和5年度)における進捗度で評価しています。

【評価基準】

| 評価 | 評価基準 |
|----|------------------------------------|
| A | 計画どおり進捗している又は計画された事業が実施されている場合 |
| B | 概ね計画どおり進捗している又は計画された事業が一部実施されている場合 |
| C | 計画の進捗に遅れが生じている又は計画された事業が未実施の場合 |

4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

■ 学識経験者

| 氏名 | 所属等 |
|-------|------------|
| 伊藤真木子 | 青山学院大学教授 |
| 山本裕一 | 亜細亜大学非常勤講師 |

5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

教育施策総括シート

【台東区生涯学習推進計画】

【基本目標】 1 多様な分野における学びの機会を充実する

生涯学習に取り組むことは、自身の人生をより豊かにするとともに、社会参加の第一歩となる重要なものです。全ての区民が生涯学習に取り組むことができるよう機会を提供していく必要があります。

生涯学習に対するニーズの多様化に対応するため、世代ごとに必要となる学習機会の提供や、困難や課題を抱える方が学習に取り組める機会の充実を図っていきます。

また、区内に存在する伝統・文化に関わる資源を活かした学習機会の提供や、生涯スポーツ社会の実現に向けた取組みも推進していきます。

区民の学習ニーズを踏まえ、誰もが学習に取り組むことができるよう、多様な学習機会の提供を進めていきます。

学習機会の提供にあたっては、地域や学校等との連携を図るとともに、区民が相互に学びあう機会を設定することでより豊かな学びを得られるよう内容の充実に努めていきます。

基本目標に対する昨年度の取組結果

○施策の方向1「世代に応じた学習機会の充実」

乳幼児の体験機会の充実（施策1）において、子供の読書活動推進については、おはなし会などの行事や団体貸出を通じて、子供が読書に興味を持つ機会を提供した。

青少年の学ぶ機会の充実（施策2）において、ジュニア駅伝大会については、参加者数が目標数値に届かなかった。これは、コロナ禍において、児童・生徒の継続的な運動の機会が減少したことが原因と考えられる。

成人の学びの充実（施策3）において、台東学びの広場については、目標値に届かなかった。これは、講座申込状況を鑑み、同日・同一講座を集約して開催したためである。

高齢者の学習機会の充実（施策4）において、シニアライフ応援計画については、計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。

○施策の方向2「多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実」

家庭教育の充実（施策5）において、家庭教育学級については、計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。

スポーツに親しむ機会の提供（施策6）において、チャレンジスポーツ教室については、計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。スポーツの祭典については、目標の参加人数を達成することができなかった。これは、実施日が雨天でイベントの規模を縮小したため、目標に達しなかった。

芸術・文化・伝統に親しむ機会の提供（施策7）において、池波正太郎記念文庫管理運営については、令和5年に池波正太郎生誕100年を記念して、各種展示や講演会・講座、イベントなどを例年以上に実施することにより計画目標を達成し、滞りなく事業の進捗を図った。

多様な主体に応じた学習機会の提供（施策8）において、生涯学習センターの機能強化（誰でも活躍できる学習環境の充実）については、目標どおり進捗している。障スポチャレンジについては、計画目標を達成し、適切に事業を実施した。

【基本目標】 2 学び続けられる環境を充実する

生涯学習を始めたい、続けたいと思っても、様々な事情により取り組むことができない区民も少なくありません。誰もが気軽に生涯学習に取り組み、継続できる学習環境が必要です。

区民が、より生涯学習に取り組めるよう、多様な学習ニーズを踏まえ生涯学習センターや図書館などの初回教育施設の機能を充実し、学びの場を提供していきます。

また、区民が学びのきっかけとなる情報を得られるよう、情報提供・発信の充実を図るとともに、ICTを活用し、時間や場所を選ばずに学習に取り組める環境を整備することにより、区民が学び続けられる環境の充実を図っていきます。

社会教育施設については、今後のニーズの変化も踏まえながら、適切なサービスを継続して提供できるよう、効果的・効率的な施設の活用やサービスの提供方法についても検討を進めていきます。

基本目標に対する昨年度の取組結果

○施策の方向3「時代の変化に対応した施設整備」

生涯学習施設の充実（施策9）において、生涯学習センターの機能強化及び誰もが利用しやすい施設の整備については、目標どおり進捗している。図書館の機能強化については、計画目標である図書館機能強化の推進に向け、中央図書館リニューアルのコンセプトと整備内容を定めた。引き続き運用面も考慮に入れ、図書館の機能向上の検討を進めていく。

○施策の方向4「学びを継続できる支援の充実」

情報発信の充実（施策10）において、学習情報提供の充実については、計画目標を達成し、滞りなく事業の進捗を図った。

ICTを活用した学びの充実[重点施策]（施策11）において、生涯学習センターの機能強化（ICTを生かした学習環境の充実）については、目標どおり進捗している。ICTを活用した生涯学習事業の推進については、計画目標を達成し、適切に事業を実施した。ICTリテラシー向上支援については、目標値に届かなかった。これは、パソコン講座及びスマートフォン講座のデジタル講座（14講座）について、令和5年度は事業組替前の「台東学びの広場」において実施したため、実施回数が目標に達しなかった。

【基本目標】 3 学びの成果を活かす取組みを推進する

生涯学習を単なる学びで終わらせることなく、その成果を様々な場で積極的に活かしていくことは、誰かの役に立っているという喜びや自信の成長の実感をもたらし、新たな学びを求める熱意や積極的な活動への参画につながっていきます。また、学習成果の活用は、社会や地域の発展にとっても大変重要なものです。

そのため、地域や社会の課題解決や活動に取り組むための学習機会の提供や、区内団体の活動支援、成果を活用する場の充実などを図ることで、区民が学んだ知識や技能をより活用できるよう支援の充実を図ります。

基本目標に対する昨年度の実績結果

○施策の方向5「学習成果の活用を促進するための支援の充実」

活動に取り組む担い手の育成（施策12）において、スポーツボランティアの育成については、目標とする登録者数には届いていないが、登録者数は令和4年度から増加しており、概ね計画どおり進捗している。

成果を活用する場の整備・充実（施策13）において、生涯学習ボランティアについては、計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。

○施策の方向6「学びの成果を地域活動につなげていくための支援の充実」

学習と活動の循環の促進[重点施策]（施策14）において、生涯学習センターの機能強化（学習成果の発表の場の充実）については、目標どおり進捗している。台東学びの広場（現代課題講座）及び台東区民カレッジについては、計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。

地域と共同した取組みの推進（施策15）において、台東区文化祭については計画目標を達成し、適切に事業の進捗を図った。

対象事業と個別評価一覧

| 施策 | 事業名 | 評価 |
|----------------------------------|------------------------------------|----|
| 基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する | | |
| 施策の方向1 世代に応じた学習機会の充実 | | |
| 施策1 | 子供の読書活動推進 | A |
| 施策2 | ジュニア駅伝大会 | C |
| 施策3 | 台東学びの広場 | B |
| 施策4 | シニアライフ応援計画 | A |
| 施策の方向2 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実 | | |
| 施策5 | 家庭教育学級 | A |
| 施策6 | チャレンジスポーツ教室 | A |
| | スポーツの祭典 | C |
| | ジュニア駅伝大会[再掲事業] | C |
| 施策7 | 池波正太郎記念文庫管理運営 | A |
| 施策8 | 生涯学習センターの機能強化 (誰でも活躍できる学習環境の充実) | A |
| | 障スポチャレンジ | A |
| 基本目標2 学び続けられる環境を充実する | | |
| 施策の方向3 時代の変化に対応した施設整備 | | |
| 施策9 | 生涯学習センターの機能強化 | A |
| | 誰もが利用しやすい施設の整備 | A |
| | 図書館の機能強化 | A |
| 施策の方向4 学びを継続できる支援の充実 | | |
| 施策10 | 学習情報提供の充実 | A |
| 施策11 | 生涯学習センターの機能強化 (ICTを生かした学習環境の充実) | A |
| | ICTを活用した生涯学習事業の推進 | A |
| | ICTリテラシー向上支援 | B |
| 基本目標3 まなびの成果を活かす取組みを推進する | | |
| 施策の方向5 学習成果の活用を促進するための支援の充実 | | |
| 施策12 | スポーツボランティアの育成 | B |
| 施策13 | 生涯学習ボランティア | A |
| 施策の方向6 学びの成果を地域活動につなげていくための支援の充実 | | |
| 施策14 | 生涯学習センターの機能強化(学習成果の発表の場の充実) | A |
| | 台東学びの広場(現代課題講座) | A |
| | 台東区民カレッジ | A |
| 施策15 | 台東区文化祭 | A |

計：24事業(内訳：A:18、B:3、C:3)

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】

【施策の方向1 世代に応じた学習機会の充実】

| | | |
|---------|--|---|
| NO. | 1-1-1 | |
| 施 策 | 1 乳幼児の体験機会の充実 | |
| 事 業 名 | 子供の読書活動推進 | |
| 取組の概要 | 子供が読書に親しめるよう、おはなし会などの子供向けの事業を実施する。また読み聞かせなどに役立つよう、団体貸出を実施する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | おはなし会などの活動 年240回 団体貸出の実施 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | おはなし会などの活動 244回 団体貸出実施 行事や団体貸出を通じて、子供が読書に興味を持つ機会を提供することができた。 内容や開催時期により、定員に比べ参加者が少ないことがあるので、参加者アンケートなどを元に、検討する必要がある。 |
| 担当課評価 | A | 計画通りに実施することができたため。 |

【中央図書館】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 1-1-2 | |
| 施 策 | 2 青少年の学ぶ機会の充実 | |
| 事 業 名 | ジュニア駅伝大会 | |
| 取組の概要 | 児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮するとともに、ジュニア層のスポーツ振興を図るため、区内在住・在学の小学4年生～6年生、中学生を対象としたジュニア駅伝大会を開催する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおりジュニア駅伝大会を開催する。 参加者数 650人 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおりジュニア駅伝大会を開催 参加者数 230人 ジュニア駅伝大会の開催により、児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮する機会を提供し、ジュニア層のスポーツ振興に寄与することができた。 コロナ禍以降、参加者が減少傾向にあるが、今後も継続して大会を開催していくため、安定的な参加者の確保を行っていく必要がある。 |
| 担当課評価 | C | 参加者数が前年度を下回ったため。 |

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】

【施策の方向1 世代に応じた学習機会の充実】

| | | | |
|---------|-------------------------------------|--|--|
| NO. | 1-1-3 | | |
| 施 策 | 3 成人の学びの充実 | | |
| 事 業 名 | 台東学びの広場 | | |
| 取組の概要 | 区民が生涯を通じ、自ら学習に取り組めるよう、多様な学習講座を提供する。 | | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおり講座を実施する。 52講座実施(生活技術、伝統文化、音楽などの生涯学習の動機付けの機会となる講座を実施) | |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり講座を実施。 50講座実施(延受講者数:2,817名 延日数:234日) 講座の実施により、生涯学習の機会や充実した学びを提供できた。また、終了後に自主サークルが誕生する講座もあり、学びを通じた交流が図られた。 より多くの区民が学習に取り組むきっかけとなるよう、社会教育関係団体の協力を得ながら講座内容を更に充実させる必要がある。 | |
| 担当課評価 | B | 講座申込状況を鑑み、同日・同一講座を集約して開催したため。 | |

【生涯学習課】

| | | | |
|---------|---|--|--|
| NO. | 1-1-4 | | |
| 施 策 | 4 高齢者の学習機会の充実 | | |
| 事 業 名 | シニアライフ応援計画 | | |
| 取組の概要 | シニア世代が、趣味や経験を活かし地域活動に参加することで、より充実した生きがいのある生活ができるよう支援する。 | | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | シニア世代対象の講座を実施する。 | |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり講座を実施。 3講座実施(延参加者数:29名 日数:5日) 講座の実施により、シニア世代がそれまで培ったスキルや経験を活かして社会参画することで、地域貢献につなげられるよう支援し、生きがいをもって生き生きと暮らせる環境を提供できている。 | |
| 担当課評価 | A | 目標どおり講座を実施できているため。 | |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】
【施策の方向2 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 1-2-5 | |
| 施 策 | 5 家庭教育の充実 | |
| 事 業 名 | 家庭教育学級 | |
| 取組の概要 | 幼稚園、こども園から中学校までの保護者を対象にPTAが企画・運営する家庭教育学級を実施する。また、保育園保護者対象は区が実施する。地域特性を踏まえた課題の解決に向けた講師の紹介や、より多くの保護者が参加できるような工夫を行うなど支援する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおり家庭教育学級を実施する。 42会場（保育園、幼稚園、こども園から中学校までの保護者を対象） |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり家庭教育学級を実施。 42会場（延参加者数1,847人） PTAが企画・運営することで、保護者のニーズに合った学級を実施することができた。今後も、より多くの保護者が家庭教育学級に関心を持ち、参加ができる工夫をしていく必要がある。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり講座を開催できているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 1-2-6-① | |
| 施 策 | 6 スポーツに親しむ機会の提供 | |
| 事 業 名 | チャレンジスポーツ教室 | |
| 取組の概要 | スポーツが苦手な子供たちがスポーツに対する「苦手意識」を克服し、スポーツの楽しさを感じてもらおう教室を開催し、継続してスポーツに親しむことができるきっかけを作る。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 参加者数 200人 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおりチャレンジスポーツ教室を実施。 実施回数3回、参加者数 延287人 実施回数・会場を増やして教室を開催したことで、多くの子供たちに、スポーツに触れて親しむ機会を提供することができた。 会場によっては参加者数が少ないことがあるため、周知方法等を検討する必要がある。スポーツに、より親しむことができるよう多くの機会を提供していく。 |
| 担当課評価 | A | 計画どおりに事業を実施しているため。 |

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】
【施策の方向2 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実】

| | | |
|---------|---|---|
| NO. | 1-2-6-② | |
| 施 策 | 6 スポーツに親しむ機会の提供 | |
| 事 業 名 | スポーツの祭典 | |
| 取組の概要 | 区民にスポーツへの関心を持ってもらうため、アスリートを招聘し、オリンピック・パラリンピック競技をはじめとする様々なスポーツの体験会や区立スポーツ施設の無料開放を実施する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 参加者数 2,700人 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | <p>下記のとおりスポーツの祭典を開催。 参加者数 1,921人 オリンピック・パラリンピック種目をはじめとする様々なスポーツを体験する機会を提供することで、スポーツを始めるきっかけづくりができた。</p> <p>しかし、実施日が雨天だったため、イベントの規模を縮小したことで、目標の参加者数を達成することができなかった。 実施種目によって参加者に偏りがあるため、より多くの競技を体験してもらえよう検討していく必要がある。</p> |
| 担当課評価 | C | 参加者数が前年度を下回ったため。 |

【スポーツ振興課】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 1-2-6-③ | |
| 施 策 | 6 スポーツに親しむ機会の提供 | |
| 事 業 名 | ジュニア駅伝大会[再掲] | |
| 取組の概要 | 児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮するとともに、ジュニア層のスポーツ振興を図るため、区内在住・在学の小学4年生～6年生、中学生を対象としたジュニア駅伝大会を開催する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 再掲事業 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | <p>下記のとおりジュニア駅伝大会を開催。 参加者数 230人 ジュニア駅伝大会の開催により、児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮する機会を提供し、ジュニア層のスポーツ振興に寄与することができた。</p> <p>コロナ禍以降、参加者が減少傾向にあるが、今後も継続して大会を開催していくため、安定的な参加者の確保を行っていく必要がある。</p> |
| 担当課評価 | C | 参加者数が前年度を下回ったため。 |

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】
【施策の方向2 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実】

| | | |
|---------|---|---|
| NO. | 1-2-7 | |
| 施 策 | 7 芸術・文化・伝統に親しむ機会の提供 | |
| 事 業 名 | 池波正太郎記念文庫管理運営 | |
| 取組の概要 | 台東区出身の作家、池波正太郎氏の業績や作品の世界を広く伝えるため、同氏の作品に関する資料を収集、保存、展示するとともに、戦前から現代までの貴重な時代小説を収集、公開する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 企画展 4回 講座・講演会 5回 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 企画展 4回 (※うち3回は生誕100年記念事業) 各種展示 8回 (※すべて生誕100年記念事業) 講座 5回 (※うち4回は生誕100年記念事業) 講演会 2回 (※すべて生誕100年記念事業) 上映会・上田市文学散歩・スタンプラリー・クイズラリー (※すべて生誕100年記念事業) 令和5年は、池波正太郎生誕100年記念の年であったため、例年の事業に加え、各種展示やスタンプラリー、クイズラリー、映画上映会などの記念事業を実施し区内外から多くの方に参加していただいた。また、同氏の功績を後世に継承し、作品の世界観を広く伝えていくため、名誉区民の称号を贈呈した。 今後は、若い世代に池波正太郎の魅力を伝える事業を検討していく。 |
| 担当課評価 | A | 目標の回数を超え開催することができたため。 |

【中央図書館】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 1-2-8-① | |
| 施 策 | 8 多様な主体に応じた学習機会の提供 | |
| 事 業 名 | 生涯学習センターの機能強化(誰でも活躍できる学習環境の充実) | |
| 取組の概要 | 子育て中の方や障害がある方にも利用しやすい施設整備を行うことで誰もが生涯学習に取り組める環境の充実を図る。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 学習環境の整備を推進する。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 子育て中の方や障害のある方が、センターを利用しやすいよう託児の実施やバリアフリートイレの増設などを図り、安心して生涯学習に取り組める施設環境を整備していく。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり進捗しているため。 |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標1 多様な分野における学びの機会を充実する】
【施策の方向2 多様なニーズや主体に応じた学習機会の充実】

| | | |
|---------------------------------|---|---|
| NO. | 1-2-8-② | |
| 施 策 | 8 多様な主体に応じた学習機会の提供 | |
| 事 業 名 | 障スポチャレンジ | |
| 取 組 の 概 要 | 区民が身近な場所で障害者スポーツを始めるきっかけを作るため、区立スポーツ施設や区内小・中学校において誰でも気軽に障害者スポーツに参加できる「障スポチャレンジ」を実施する。 | |
| 5 年 度 事 業 評 価 | 目 標 (事業内容) | 障スポチャレンジを実施する。 |
| | 事 業 (実績、成果、課題) | <p>下記のとおり障スポチャレンジ事業を実施。</p> <p>①シッティングバレー 35回 延人数312人</p> <p>②ボッチャ 23回 延人数207人</p> <p>障スポチャレンジの実施により、気軽に障害者スポーツに参加できる機会を提供することができた。</p> <p>より多くの区民の参加を促すため、更なる周知方法等を検討していく。</p> |
| 担 当 課 評 価 | A | 計画どおりに事業を実施しているため。 |

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標2 学び続けられる環境を充実する】
【施策の方向3 時代の変化に対応した施設整備】

| | | |
|---------|--|--|
| NO. | 2-3-9-① | |
| 施 策 | 9 生涯学習施設の充実 | |
| 事 業 名 | 生涯学習センターの機能強化 | |
| 取組の概要 | 時代の変化に伴い生じた、生涯学習センターに対する新たな区民ニーズに対応するため、ICT環境の充実など、施設の機能強化を実施する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 生涯学習センター機能強化の推進を図る。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | センター全館にWi-Fiを整備することで、ICTを活用した学習に取り組みやすい環境を提供し、多様な学習方法に対応できる施設としていく。 また、学習成果を発表する場を充実させることで、より多くの方に生涯学習に取り組むきっかけを提供していく。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり進捗しているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 2-3-9-② | |
| 施 策 | 9 生涯学習施設の充実 | |
| 事 業 名 | 誰もが利用しやすい施設の整備 | |
| 取組の概要 | 社会教育施設について高齢の方や障害のある方にも利用しやすい施設とすることなどにより、区民が自ら学習に取り組める環境を整備する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 施設整備の推進を図る。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 老朽化している施設においては、高齢の方や障害のある方が社会教育施設を利用しやすいよう改修時にバリアフリー化などの整備を推進していく。 また、台東小島ビルの改築にあたっては、エレベーターやバリアフリートイレの設置など、区民が利用しやすい学習環境の整備を進めている。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり進捗しているため。 |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標2 学び続けられる環境を充実する】
 【施策の方向3 時代の変化に対応した施設整備】

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| N0. | 2-3-9-③ | |
| 施 策 | 9 生涯学習施設の充実 | |
| 事 業 名 | 図書館の機能強化 | |
| 取 組 の 概 要 | 多様化するニーズに対応したサービスや、誰もが快適に利用できる環境整備など、利用者の利便性向上に向けた図書館の機能強化を図る。 | |
| 5 年 度 事 業 評 価 | 目 標 (事業内容) | 図書館機能強化の推進。 |
| | 事 業 (実績、成果、課題) | <p>○中央図書館を時代の変化に対応した施設にリニューアルするため、対応すべき課題を整理し、コンセプトを策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の光と木のぬくもりを感じる「明るく開放的な図書館」 ・「人」と「本・情報」をつなぐ「誰もが利用しやすい図書館」 ・「人」と「人」をつなぐ「交流できる図書館」 <p>○上記コンセプトを踏まえ、リニューアルの具体的な内容を決定し、設計に反映させた。</p> |
| 担 当 課 評 価 | A | リニューアルの内容を決定し、設計に反映させた。 |

【中央図書館】

教育事業評価シート

【基本目標2 学び続けられる環境を充実する】

【施策の方向4 学びを継続できる支援の充実】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 2-4-10 | |
| 施策 | 10 情報発信の充実 | |
| 事業名 | 学習情報提供の充実 | |
| 取組の概要 | 生涯学習ガイド等に掲載している内容を充実させるとともに、台東区が実施している生涯学習に関連する事業の情報を集約し発信するなど、より多くの情報を分かりやすく発信し、生涯学習の情報提供を充実させる。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 生涯学習の情報提供を充実させる。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | <p>生涯学習に関する講座・イベント情報及び団体情報を半年ごとに集約した生涯学習ガイドをホームページに掲載し周知を図った。また、生涯学習センターにおける講座・イベント情報などを集約したセンターニュースを毎月発行し、区民に向け生涯学習に関する情報を周知することができた。</p> <p>今後は、より多くの生涯学習に関する情報を区民に提供できるよう、広く情報収集し、SNSを活用した周知をしていく必要がある。</p> |
| 担当課評価 | A | ホームページなどを通じて、講座やイベントなどに関する情報を提供できているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|-------------------------------------|---|
| NO. | 2-4-11-① | |
| 施策 | 11 ICTを活用した学びの充実[重点施策] | |
| 事業名 | 生涯学習センターの機能強化(ICTを生かした学習環境の充実) | |
| 取組の概要 | 区民がICTを活用した学習や情報発信に取り組める学習環境の充実を図る。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | ICTを活かした学習環境の整備を推進する。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | <p>会議室に電子黒板等を配備し、パソコン等のデバイスを使用する講座や研修などの学習に対応できる環境を提供していく。</p> <p>また、会議室に有線LANを設置し、オンラインを活用したWebセミナー等で利用しやすい環境を整備し、ICTを活用した学習環境の充実を図っていく。</p> |
| 担当課評価 | A | 目標どおり進捗しているため。 |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標2 学び続けられる環境を充実する】

【施策の方向4 学びを継続できる支援の充実】

| | | |
|---------|---|---|
| NO. | 2-4-11-② | |
| 施 策 | 11 ICTを活用した学びの充実[重点施策] | |
| 事 業 名 | ICTを活用した生涯学習事業の推進 | |
| 取組の概要 | 生涯学習に関する各種講座をいつでも受講したいときに視聴できるように講座の動画配信や、オンラインで実施する講座の充実を図る。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | ICTを活用した生涯学習事業を実施する。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 生涯学習センター内で動画学習サービス「オンデマンド講座」を実施した。また、「家庭教育学級」などにおいて、対面とオンラインで講座を実施したことにより、様々な端末を通じて区民がいつでも学習に取り組むことができた。 今後は、時代の変化や区民のニーズに柔軟に対応し、講座内容の充実を図っていく必要がある。 |
| 担当課評価 | A | ICTを活用したオンデマンド講座の提供など、生涯学習のきっかけをつかむことのできる多様な講座を実施しているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|--|--|
| NO. | 2-4-11-③ | |
| 施 策 | 11 ICTを活用した学びの充実[重点施策] | |
| 事 業 名 | ICTリテラシー向上支援 | |
| 取組の概要 | パソコンやスマートフォン講座を実施することで、通信機器の利用に対する格差の解消に努める。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記の通り講座を実施する。 16講座実施（パソコンやスマートフォン、インターネット等の基本操作・基本知識を学ぶための講座を実施） |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり講座を実施。 4講座実施（延受講者数：57名 延日数：5日） キャッシュレス講座や親子プログラミング講座などを実施した。講座の受講により通信機器の利用格差を解消するとともに、安全・安心な利用に繋がった。（パソコン講座及びスマートフォン講座の14講座は、「台東学びの広場」の事業で実施。） 今後は、パソコンやスマートフォン、インターネット等の利用に対して時代の変化や区民のニーズに柔軟に対応し、更に講座内容の充実を図っていく必要がある。 |
| 担当課評価 | B | 令和5年度は、パソコン講座及びスマートフォン講座を「台東学びの広場」で実施したため。 |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標3 学びの成果を活かす取組みを推進する】
【施策の方向5 学習成果の活用を促進するための支援の充実】

| | | | |
|---------|---|---|--|
| NO. | 3-5-12 | | |
| 施 策 | 12 活動に取り組む担い手の育成 | | |
| 事 業 名 | スポーツボランティアの育成 | | |
| 取組の概要 | スポーツボランティアの登録制度により、区内外のスポーツイベントの情報提供を行い、スポーツボランティアとして活躍できる場を提供する。 | | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 登録者数 180人 | |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 登録者数 168人 登録者数は令和4年度時点から増加しており、区内を含めた近隣のスポーツ事業にボランティアとして参加してもらうことができた。 引き続きボランティア登録の呼びかけを行い、スポーツボランティアの方々が活躍できる場の提供に寄与していく。 | |
| 担当課評価 | B | 目標数には達していないが、概ね計画どおりに進捗しているため。 | |

【スポーツ振興課】

| | | | |
|---------|--|--|--|
| NO. | 3-5-13 | | |
| 施 策 | 13 成果を活用する場の整備・充実 | | |
| 事 業 名 | 生涯学習ボランティア | | |
| 取組の概要 | 知識や技能を有する方を登録し、区民の学習活動に活用する生涯学習ボランティア制度の普及啓発を図り活用を促す。また新たな登録を推進する。 | | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおり実施する。 紹介数5件、登録数36件 | |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり生涯学習ボランティア事業を実施。 紹介数 29件（太極拳、ハンドベル、動画編集、英会話など） 登録数 個人37人、団体5団体 生涯学習ボランティア事業により、「地域で活動したい人・団体」と「活動を求める団体」をつなぎ、コーディネート活動を継続的に実施できた。 今後も、活動内容について広く周知し、更に活動の場を広げる必要がある。 | |
| 担当課評価 | A | 区民の多様な活動機会につながり、安定して実施しているため。 | |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標3 学びの成果を活かす取組みを推進する】
 【施策の方向6 学びの成果を地域活動につなげていくための支援の充実】

| | | |
|---------|---|---|
| NO. | 3-6-14-① | |
| 施策 | 14 学習と活動の循環の促進[重点施策] | |
| 事業名 | 生涯学習センターの機能強化(学習成果の発表の場の充実) | |
| 取組の概要 | 区民が学んだ成果を発表する場を生涯学習センターにおいて提供することにより、継続的な学習と活動の循環につなげる。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 学習成果の発表の場の整備を推進する。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 社会教育関係団体等の作品を展示するスペースを館内に設置することで、学習成果を発表する場を提供していく。 また、1階アトリウムに交流スペースを設置し、センター利用者がいつでも学習できる環境を整備し、継続的な学習と活動の循環につなげていく。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり進捗しているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|---|--|
| NO. | 3-6-14-② | |
| 施策 | 14 学習と活動の循環の促進[重点施策] | |
| 事業名 | 台東学びの広場(現代課題講座) | |
| 取組の概要 | 時代に即した現代的・社会的な課題について学ぶ講座を実施することにより、課題解決への注意喚起を図る。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおり講座を実施する。 5講座実施(多文化共生/エネルギー/SDGsなど) |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり講座を実施。 5講座実施(延受講者数:172名 延日数:20日) 講座の実施により、生涯学習の機会や充実した学びを提供できた。 また、終了後に自主サークルが誕生する講座もあり、学びを通じた交流が図られた。 より多くの区民が学習に取り組むきっかけとなるよう、社会教育関係団体の協力を得ながら講座内容を更に充実させる必要がある。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり実施しているため。 |

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標3 学びの成果を活かす取組みを推進する】
【施策の方向6 学びの成果を地域活動につなげていくための支援の充実】

| | | |
|---------|--|--|
| NO. | 3-6-14-③ | |
| 施 策 | 14 学習と活動の循環の促進[重点施策] | |
| 事 業 名 | 台東区民カレッジ | |
| 取組の概要 | 区民が学習成果を活かし主体的に地域課題の解決や地域活動に取り組むことができるよう、地域で活躍することを目的とした学習講座を実施する。また、地域活動に取り組むための情報提供や学習相談も実施する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 下記のとおり講座を実施する。 3講座実施（地域課題解決型：1回、地域活動参画型：2回） また、学習情報などの収集を行い、区民に提供する。 |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記の通り、講座を実施。 地域課題解決型：多文化共生（1回） 地域活動参画型：音楽（2回） 講座終了後に自主サークルが誕生する講座もあり、学びを通じた交流が図られた。また、学習情報については、地域活動に関わる情報収集を行い、区民に提供することができた。 今後については、地域課題をテーマにした講座の実施や地域活動に関する情報の充実など、より多くの区民が主体的に学習するきっかけとなるよう情報提供を図っていく。 |
| 担当課評価 | A | 目標どおり実施しているため。 |

【生涯学習課】

| | | |
|---------|---|---|
| NO. | 3-6-15 | |
| 施 策 | 15 地域と協働した取組みの推進 | |
| 事 業 名 | 台東区文化祭 | |
| 取組の概要 | 区民の文化や体育の向上・発展に寄与する機会として、「文化の日」を中心に、社会教育関係団体の日頃の学習成果を、展示や舞台公演などを通じて広く区民に発表する。 | |
| 5年度事業評価 | 目標 (事業内容) | 文化祭を実施する。（社会教育団体協議会加盟団体の各種作品の展示、舞台発表及び体験事業など） |
| | 事業 (実績、成果、課題) | 下記のとおり実施。 展示の部 14日間実施 舞台の部、体験の部、式典 各1日実施 入場者数 延べ5,215人 14団体が合同で発表の場を設けることにより、各団体の活動の活性化に繋がるとともに、多くの区民に鑑賞してもらう機会とすることができた。今後については、各団体を通じた周知の充実など、更なる入場者の増加に向けた取組みが必要である。 |
| 担当課評価 | A | 社会教育団体の活動成果を共有し、団体同士や区民との交流を図ることができたため。 |

【生涯学習課】

6 学識経験者による意見

○伊藤 真木子(青山学院大学教授)

【基本目標1】多様な分野における学びの機会を充実する

[全般]

すべての事業を点検・評価したのではなく、教育委員会所管の事業のうち、「重点施策」「新規掲載」とあるものを中心に点検・評価を行ったとのこと、具体的には事業番号2, 5, 16, 24, 28, 34, 35, 46, 57, 58についての評価結果をみた。

大規模で単発の体育・スポーツ関連イベントについて「参加者数が前年度を下回ったため」という理由でCとなっているほかは、全ての事業についてAと評価されており、概ね計画通りに進んでいる状況がうかがえる。

[個別事業について]

「ジュニア駅伝大会」「スポーツの祭典」については評価Cとなっているが、参加者数が前年度を上回り続けることが必ずしも意味あるとは限らず、運営面での安全や参加者の満足が担保できる人数設定が大事ではないだろうか。そう考えると、元々の目標値(参加者数)の設定を再考することも必要かもしれない。

たとえば、「ジュニア駅伝大会」については、年々参加者数が減っている理由を具体的に分析する、「スポーツの祭典」については、雨天時の参加者数の減り幅を予め試算する、そういった分析や試算をふまえた目標値の設定が必要ではないだろうか。また、大規模で単発の事業であるだけに、事前の広報がどれほど効果的に出来ているか、対象層における事業の周知度といった観点からも、点検する必要があるかもしれない。

【基本目標２】 学び続けられる環境を充実する

【全般】

基本目標１と同様に、一部の事業（７５，７６，７７，８７，８８，８９，９０）についての評価結果をみたに留まるが、全てＩＣＴに焦点があたるかたちで点検・評価がなされて、殆ど全てがＡ評価となっている。情報化が進む時代変化への対応として最低限必要な環境整備であり、これらが概ね計画通りに進んでいることは大事であろう。

また、情報弱者や情報格差、情報リテラシーの問題など、いわば情報化の負の側面についても意識された事業展開が見受けられるのも重要なことで、今後も着実な取組が求められるところだろう。

【個別事業について】

「生涯学習センターの機能強化」「図書館の機能強化」については、ＩＣＴ環境の整備等に注力されるのは当然でもあるが、同時に、従来から社会教育の領域では大切にしてきた、対面的な人間関係のなかでの学びの意義を今一度見直し、あらたな環境を創出することも重要だといえるであろう。

人と人との関係をとりもつのはやはり人であると考えれば、運営に関わる職員等の配置や研修といった面からの機能強化についてもより重視すべきであると思われ、そうした観点からの目標値の設定について検討することの意義は大きいように思われる。

【基本目標3】学びの成果を活かす取組みを推進する

【全般】

基本目標1, 2と同様にここでも、一部の事業(95, 110, 113, 114, 115, 120)についての評価結果をみたに留まるが、殆ど全ての評価がAで計画通り順調に進んでいるとされている。しかしここで「学びの成果はいつどこで発現するのか」などと考えると、一律の評価シートで十分な点検が可能なのか、と考えさせられるところもある。

例えば、発表機会の提供が主となる事業は、従来から他の自治体でも定着しており、台東区でも安定的な運営が続いていると推測される。一方で、地域課題をあつかう講座実施を主とする事業については、単年度での実施回数や参加者数のみで点検するだけでなく、台東区固有の工夫や課題などにも着目し、より充実した内容になることを期待したい。

【個別事業について】

「台東学びの広場」「台東区民カレッジ」については、個人的な興味関心に応じた学習機会提供ということではない、社会的な課題を扱う学習機会提供としての意義や困難、課題もあるはずなので、課題解決に向けた行政としての働きかけや、住民の考えや行動に対して、職員(学習支援者)や受講者(学習者)がそれぞれどのような課題を認識しているのか、受講者の意識変容が地域の変容にどうつながっていくのか、といったプロセスの記録として本評価シートが生かされると良いのではないだろうか。

○山本 裕一(亜細亜大学非常勤講師)

【基本目標1】多様な分野における学びの機会を充実する

【全般】

本計画は、3つの基本目標の下位施策の実施をとおしてその目標実現を図ろうとするという設計となっている。こうした枠組みでは、目標実現のためにそのカテゴリーに属する施策は、当該カテゴリーの目標実現のための手段として講じられることになるが、それらの施策を他の目標実現のためにも講じていく発想も意義があると考ええる。

たとえば、「シニアライフ応援計画」(1-1-4)において「シニア世代が、趣味や経験を活かし地域活動に参加することで・・・」(取組の概要)とあるように、基本目標1の施策が基本目標3の施策の実現にもつながっている例が存在している。

3つの基本目標は、並列ではなく積み上げによる正月の“お供え餅”をイメージするとわかりやすい。まず学びの機会を提供(基本目標1)し、それを持続可能にするための工夫(基本目標2)を凝らし、最終的には区民の社会参加の機会を構築(基本目標3)していくというステップである。すべての事業をこうした観点から行うことは現実的ではないが、担当者がこうした点を意識しながら企画実施することで、より高度なレベルの事業展開が可能になると考える。

【個別事業について】

上記の発想で考えてみると、「子供の読書活動推進」(1-1-1)では、「子供が読書に興味を持つ機会を提供することができた」とあるので、それをさらに進めて事業に参加して興味を持った子供が下級生に読み聞かせをするなどの学んだ成果を活かす(基本目標3)場面も考えられるのではないかと。また、「ジュニア駅伝大会」(1-2-6-③)では、他の自治体の成績優秀者の参加を得てグランドチャンピオン大会を開催するなど、継続性を意識した展開(基本目標2)が考えられる。

こうして得られた事業成果を参加者数などの実績とともに新たな評価軸として評価していくことにより、質的側面からさらなる事業の充実を図ることができるのではないかと。

【基本目標２】 学び続けられる環境を充実する

【全般】

本計画にも掲載されている持続可能な開発目標（SDGs）は、中央教育審議会答申（平成30年）でも紹介されており、答申では優先的に進める分野として「あらゆる人々の活躍の推進」を挙げている。本計画の「課題の整理」で指摘しているように、本区の定住外国人の割合は東京23区で4番目に高い割合となっており、外国人に対する学習機会へのアクセスの充実が本区の喫緊の課題であるといえる。

今後、ICT環境など生涯学習施設の充実を図っていくためには、こうした外国人を視野に置き、「あらゆる人々の活躍の推進」のための施策を実施していく必要があるが、その際、アクセスの充実という観点からはハードの整備とともに、“交流”を意識したソフトの整備を併せて行っていく必要があると考える。

【個別事業について】

今日の厳しい財政事情のもと、生涯学習施設の充実という観点から着実に計画を進めている点は評価できる。今後は「図書館の機能強化」（2-3-9-③）に記載されているように、「人」と「人」をつなぐといったソフトの観点からの施策を図書館だけではなく学習情報提供の分野も含め幅広く展開していくことを望みたい。

【基本目標3】学びの成果を活かす取組みを推進する

【全般】

本計画に「学びの成果を活かす取組みを推進する」を基本目標の一つに置いていることを評価したい。教育基本法第3条の「生涯学習の理念」においても、学んだ成果を適切に生かす社会の実現が図られなければならないと規定しており、本区の持続可能な発展のためにさらなる充実を図っていただきたい。

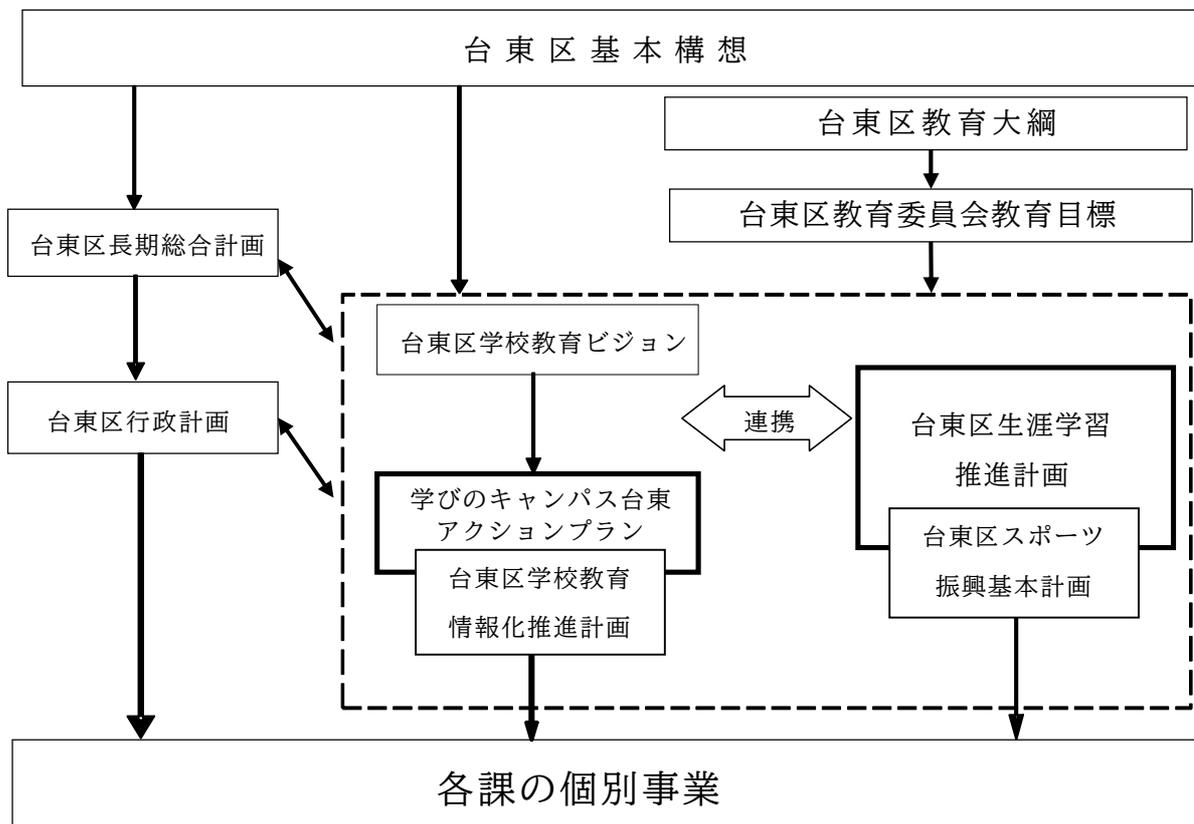
【個別事業について】

「成果を活用する場の整備・充実」（施策13）として「生涯学習ボランティア」（3-5-13）の事業が行われていたり、「学習と活動の循環の促進」（施策14）、「地域と協働した取組みの推進」（施策15）においても目標達成のための事業を行っており評価することができる。一方で、生涯学習分野においてはこれまでたびたび指摘されてきた「社会教育行政のネットワーク型行政への転換」という点では、今後の課題であるといえる。たとえば、生涯学習ボランティア（前出）において首長部局と連携した新たな活動先の掘り起こし、あるいは台東区文化祭（3-6-15）では、社会教育団体協議会加盟団体とともに、さらに地域活動を行っている多様な団体の参加も視野に入れることが考えられる。

今後、生涯学習課が核となって様々な部局との連携を図り、区民の学習成果を広く活かすことができるような場の整備に務めていただきたい。

7 参考資料

○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台東区学校教育ビジョン」、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「台東区生涯学習推進計画」、「台東区スポーツ振興基本計画」は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、台東区の「教育振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。

台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校(園)・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通して、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校(園)・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和6年11月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp